

一般社団法人
日本臍帯
プラセンタ
学会

第5回総会・大会プログラム

日時：平成30年5月20日（日）

会場：TKP ガーデンシティ品川

プラセンタ U2・P2 の臨床報告

ふるたクリニック 院長

古田一徳



プラセンタのU2・P2は医薬品ではありません。使用開始以来、約2年が経過していますが、まとまった臨床報告はされていないので現状です。

単施設（ふるたクリニック、メディカルプランチ表参道）での結果は、のべ注射回数ですが、U2が240回、P2が200回ですが、すべてにおいて追跡調査ができていませんが、副作用としては、患者様ご本人への聞き取りですが、穿刺部の発赤は5例、皮膚状態の改善5例、発熱2例でした。重篤な合併症はありません。肝機能改善例が2例、睡眠改善2例、腎機能改善例1例、体調改善例（疲労回復例を含む）10例、でした。

また、注射後の遠隔期（2年間）ですが、問題のあった例はありませんでした。

印象ですが、プラセンタは継続が必要なものなので、2週間から1ヶ月に1回の投与を継続している患者さまにこのような効果があったように思われました。

安全性についても、開始からわずか2年ではありますが、問題ないと思います。

今回、他施設も含めて、できるかぎりの症例を集積し、統計学的に解析はできていませんが、その安全性、副作用、合併症、効能効果について、検討しましたので報告いたします。